

津波浸水予測図 詳細地区別 宮古島市 国仲(6/7)

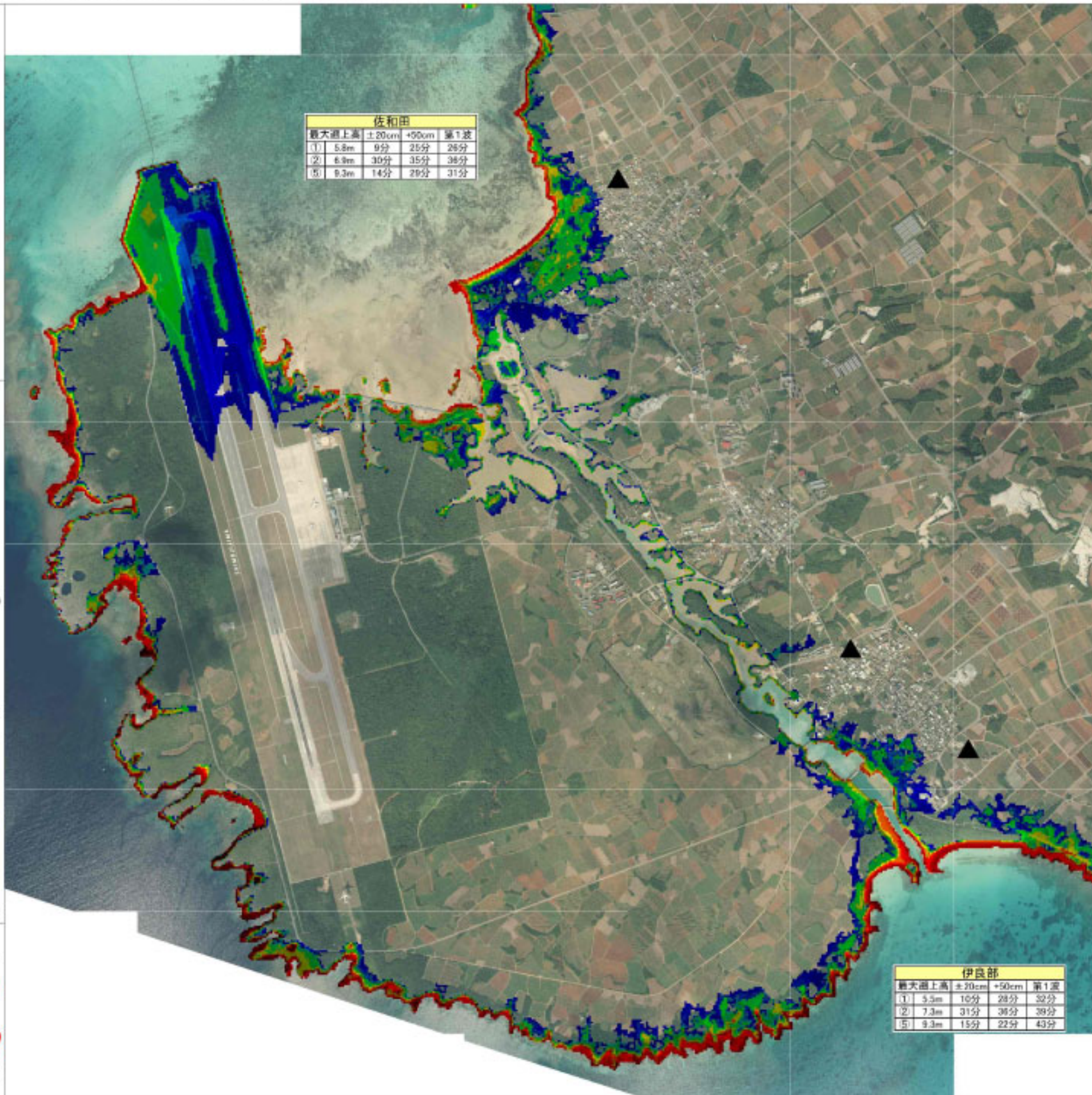
案内図

■下記の9つの津波を想定地区津波とし、各市町村毎に影響の大きい3つの津波を選定し、それぞれ海岸構造物の「効果あり」・「効果なし」の2パターンのシミュレーションを行いました。(全6ケース)
 ■この図には、全6ケースのうち、最大の浸水範囲、最大浸水深(注1)を表示しています。
 ■また、代表地点周辺における最大浸水深(注1)および津波到達時間(±20cm、+50cm、第1波)を表示しています。(注2)
 ■地区の浸水が想定より陸地に近かったり、想定を超える津波が来襲するなど、条件が異なる場合には、ここで示した時間より早く津波が来襲したり、浸水深が高くなったり、浸水範囲以外でも浸水する可能性があります。
 [シミュレーション条件]
 (1) 想定地区
 ①宮古島東方沖の想定地区 ②宮古島南東沖の想定地区 ③宮古島西方沖の想定地区
 ④石垣島東方沖の想定地区(1) ⑤石垣島東方沖の想定地区(2) ⑥石垣島南方沖の想定地区
 (注1) 八重山諸島に大きな津波が襲来するタイプ (注2) 宮古-八重山諸島に大きな津波が襲来するタイプ
 ⑦石垣島北西沖の想定地区 ⑧与那国島北方沖の想定地区 ⑨与那国島南方沖の想定地区
 (2) 構造物
 効果あり：防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防などの施設が、全て有効に機能したケース。
 効果なし：防波堤、海岸堤防、防潮堤、河川堤防など施設の機能が失われたと想定したケース。
 (3) 潮位：晴皇平均満潮位
 (大潮時(朔・望)の日から前2日後4日以内に現れる各月の最高満潮面を1年以上平均した水面)
 ※注1 最大浸水深と浸水深(図1参照)
 最大浸水深は、各地区で津波が到達する最高の高さです。
 浸水深は、各地の地表面からの水面の高さです。
 ※注2 影響開始時間(±20cm、+50cm)と津波到達時間(図2参照)
 影響開始時間は、地震発生から、海岸・海域の人命に影響が出る恐れのある津波による水位変化(初期水位から水位変化が±20cm)が生じるまでの時間です。また、図中には、避難への影響がでる恐れのある初期水位からの水位上昇が+50cmに達する時間も表示しています。
 津波第1波到達時間は、地震発生から、津波第1波のピークが海岸に到達するまでの時間です。
 ※注3 津波シミュレーションは、最小メッシュサイズを10mメッシュで実施しているため、堤防などにある狭い開口部や小さな深川や水路などの詳細な地形は反映されないなど、必ずしも現況地形と一致するものではありません。そのため、浸水しないと予測された地域であっても、実際には浸水する可能性があります。

凡例
 3つの想定津波の最大浸水深(m)
 ■ 0.5m未満
 ■ 0.5m以上 ~ 1.0m未満
 ■ 1.0m以上 ~ 2.0m未満
 ■ 2.0m以上 ~ 3.0m未満
 ■ 3.0m以上 ~ 4.0m未満
 ■ 4.0m以上 ~ 5.0m未満
 ■ 5.0m以上

▲ 1771年明和の大津波による痕跡記録(OOcm)

縮尺 1:15,000



「この地図の背景には、空撮オルソ画像(0118.12撮影)を使用しています。」